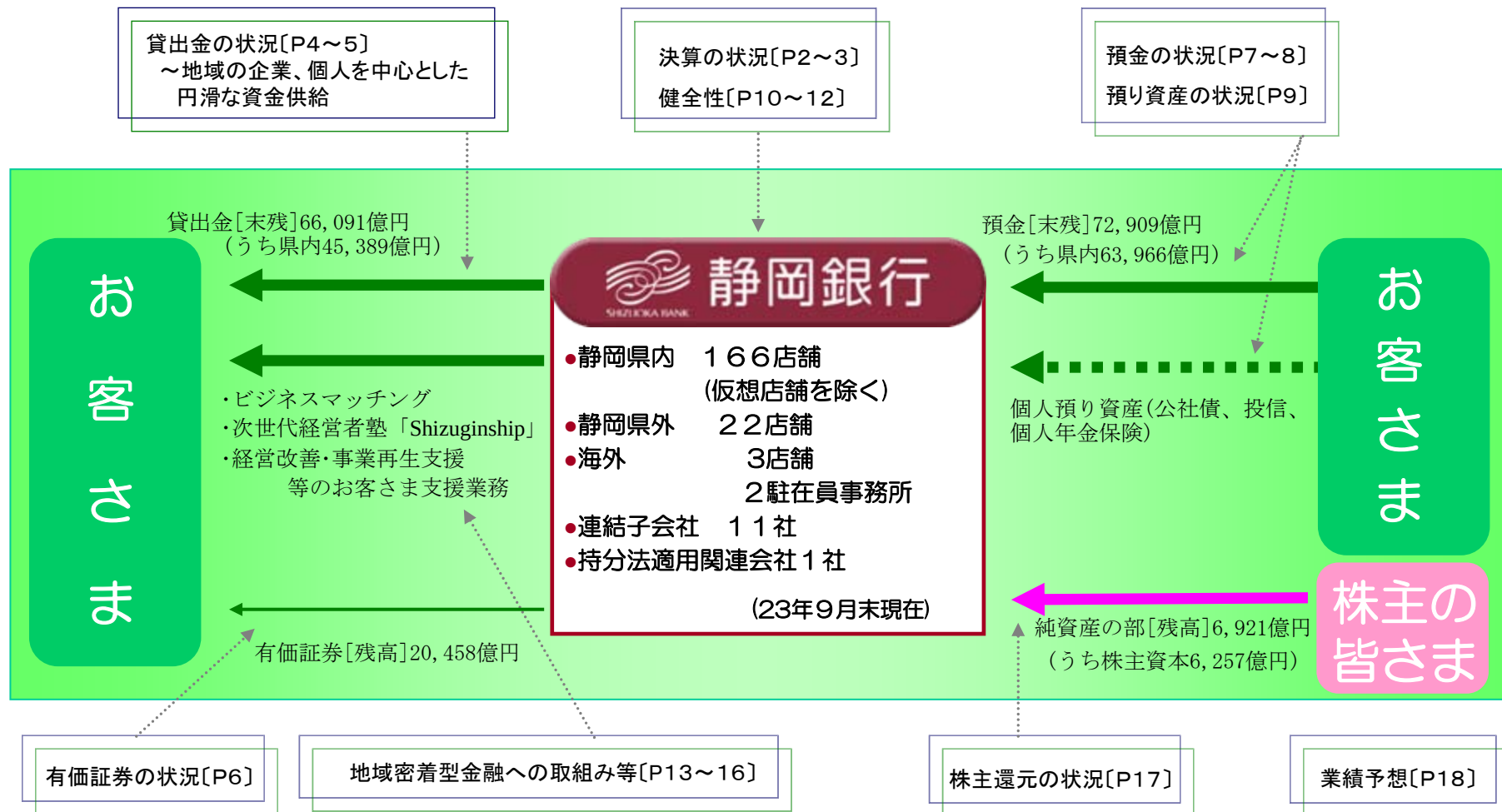


地域のお客さまとともに

～平成23年度中間決算ハイライト～

地域のお客さまとともに

- 静岡銀行では、株主の皆さまからご出資いただいた資金、お客さまからお預りした資金をもとに、静岡県を中心としたお客さまへご融資を行い、暮らしや事業の夢の実現のお手伝いをするとともに、地域密着型金融への取組みなどを通じて地域経済の持続的な発展に貢献することを経営の基本姿勢としています。



※本資料の金額等は原則として単位未満を四捨五入しています。

また、本資料における予想値については、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績はこれらの予想値と異なる結果となる可能性があります。

決算の状況(連結)

(億円、%)

《連結決算の状況》	23年度 中間期	前年同期比	
		増減額	増減率
連結経常収益	1,131	+87	+8.3
連結経常費用(△)	727	△20	△2.7
連結経常利益	405	+107	+35.9
連結中間純利益	223	+57	+34.5

連結経常収益 前年同期比+87億円増収(4期振り)

連結経常費用 前年同期比△20億円減少

連結経常利益 前年同期比+107億円増益(3期連続)[過去最高益]

連結中間純利益 前年同期比+57億円増益(2期振り)

《連結子会社(11社)》

静銀経営コンサルティング(株)
 静銀リース(株)
 静岡コンピュータサービス(株)
 静銀信用保証(株)
 静銀ティーシーカート(株)
 静岡キャピタル(株)
 静銀ティーエム証券(株)
 静銀総合サービス(株)
 静岡モーゲージサービス(株)
 静銀ビジネスクリエイト(株)
 欧州静岡銀行

《持分法適用関連会社》

静銀セゾンカード(株)

- 連結経常収益は、貸倒引当金戻入益を中心としたその他経常収益の増加(+78億円)に加え、役務取引等収益の増加(+9億円)などもあり、前年同期比+87億円の1,131億円となりました。
- 連結経常費用は、金融派生商品費用によるその他業務費用の増加(+17億円)があったものの、貸倒引当金繰入額などのその他経常費用の減少(△31億円)を主因に、前年同期比△20億円の727億円となりました。
- この結果、連結経常利益は、前年同期比+107億円の405億円、連結中間純利益は前年同期比+57億円の223億円となりました。

決算の状況(単体)

(億円、%)

《静岡銀行単体の状況》	23年度 中間期	前年同期比	
		増減額	増減率
経常収益	974	+77	+8.5
業務粗利益	764	△7	△1.0
資金利益	652	+17	+2.7
役務取引等利益	74	+0	+0.2
特定取引利益	△3	△1	△25.6
その他業務利益	40	△24	△38.0
(うち国債等債券関係損益)	57	+5	+9.4
(うち金融派生商品損益)	△25	△30	△653.7
経 費 (△)	408	△1	△0.4
基礎的業務純益※1	299	△11	△3.5
実質業務純益※2	356	△6	△1.6
一般貸倒引当金繰入額 (△)	—	△22	△100.0
業務純益	356	+16	+4.6
臨時損益	18	+90	+124.5
うち不良債権処理額 (△)	1	△48	△98.2
うち貸倒引当金戻入益	74	+74	—
うち株式等関係損益	△52	△35	△197.6
経常利益	374	+106	+39.4
特別損益	1	+2	+166.1
税引前中間純利益	374	+108	+40.4
法人税等合計 (△)	159	+53	+50.3
中間純利益	215	+55	+33.9

※1 基礎的業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券関係損益

※2 実質業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額

経 常 収 益 前年同期比+77億円増収(4期振り)

- 経常収益は、貸倒引当金戻入益の計上（+74億円）を主因に、前年同期比+77億円の974億円となりました。

業 務 粗 利 益 前年同期比△7億円減益(8期振り)

- 業務粗利益は、資金利益が増加（+17億円）したものの、債券のヘッジ取引実施による金融派生商品損益の悪化（△30億円）などにより前年同期比△7億円の764億円となりました。

業 務 純 益 前年同期比+16億円増益(3期連続) [過去最高益]

- 業務純益は、一般貸倒引当金が取崩しにより繰入額計上がなくなったことから、前年同期比+16億円の356億円となりました。

経 常 利 益 前年同期比+106億円増益(2期振り) [過去最高益]

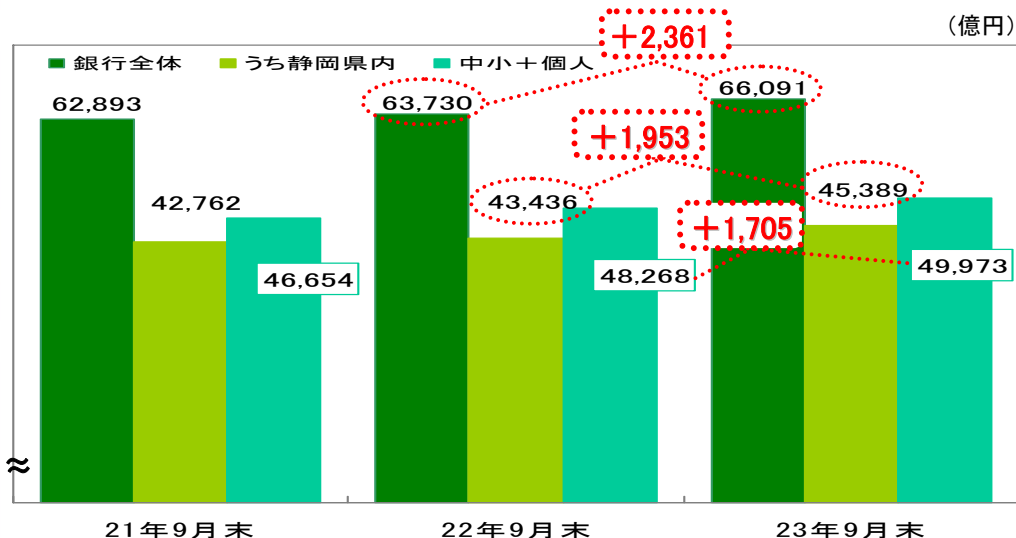
- 経常利益は、株式等関係損益の悪化（△35億円）があったものの、貸倒引当金戻入益の計上（+74億円）を主因に、前年同期比+106億円の374億円となりました。

中 間 純 利 益 前年同期比+55億円増益(2期振り)

- 中間純利益は、特別損益の改善もあり、前年同期比+55億円の215億円となりました。

貸出金の状況①

貸出金残高(末残)の推移



●23年9月末の貸出金残高(末残)は、66,091億円と前年同期比+2,361億円(年率+3.7%)の増加となりました。

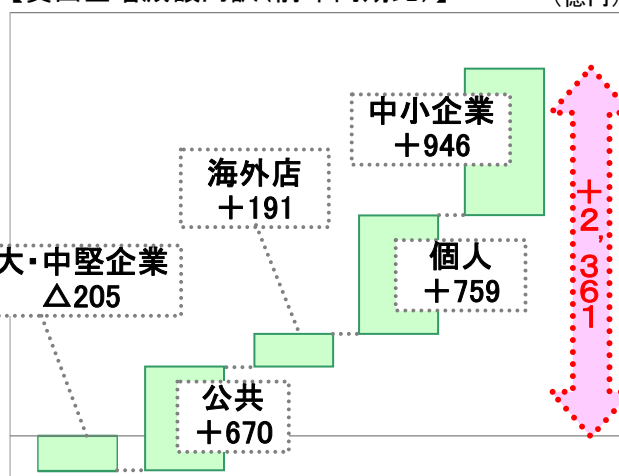
貸出金残高(末残)増加の主な内訳は以下のとおり

- ・ 静岡県内 +1,953億円(年率+4.5%)
- ・ 中小企業向け +946億円(年率+3.6%)
- ・ 個人向け +759億円(年率+3.5%)

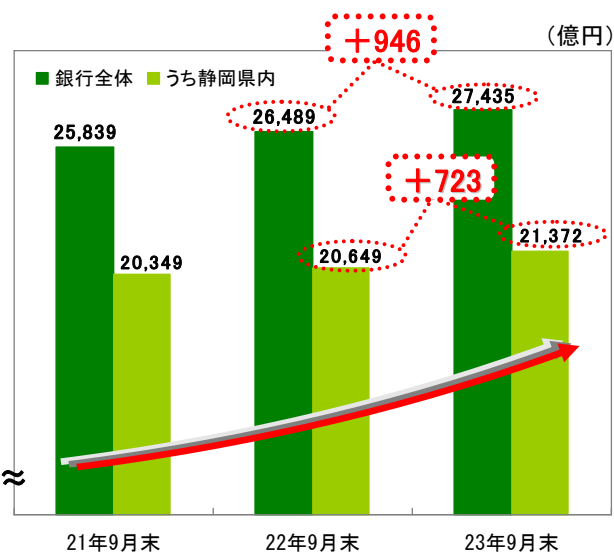
なお、中小企業向けに個人向けを加えた増加額は+1,705億円(年率+3.5%)となりました。

企業規模別 貸出金残高(末残)の増減

【貸出金増減額内訳(前年同期比)】

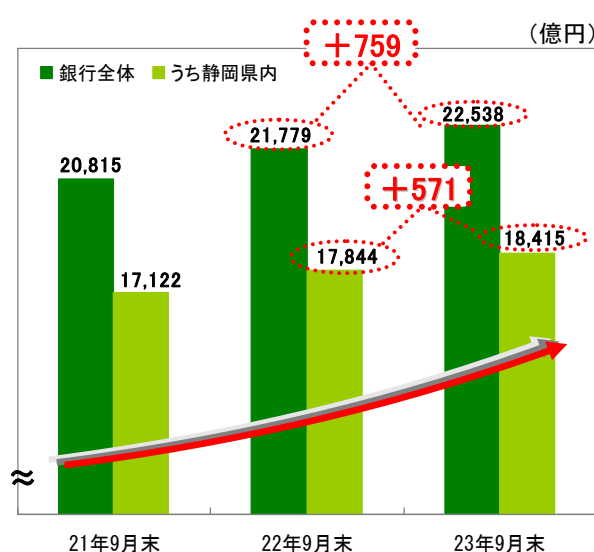


うち中小企業向け貸出金残高(末残)の推移



※地方公社を含みません。

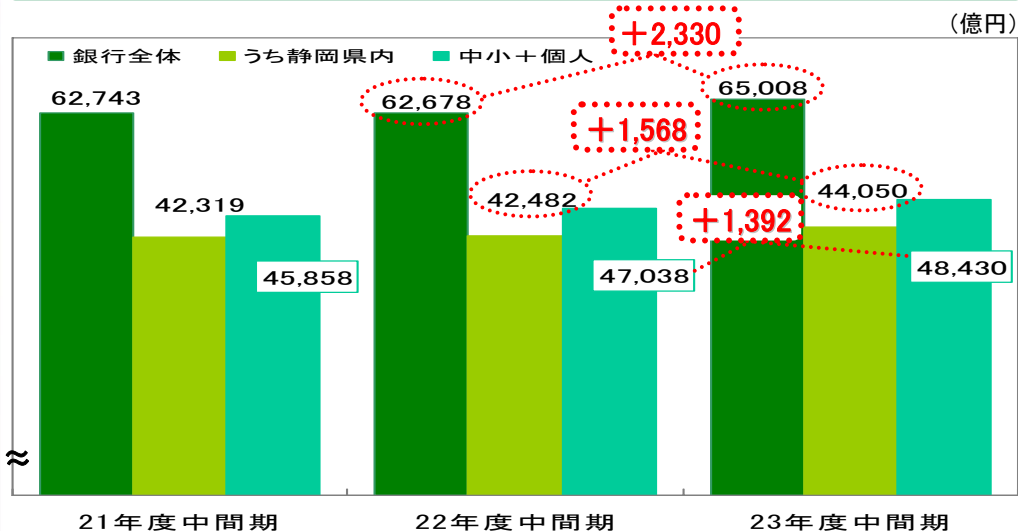
うち個人向け貸出金残高(末残)の推移



※アパートローンを含みます。

貸出金の状況②

貸出金残高(平残)の推移



●23年度中間期の貸出金残高(平残)は、65,008億円と前年同期比+2,330億円(年率+3.7%)の増加となりました。

貸出金残高(平残)増加の主な内訳は以下のとおり

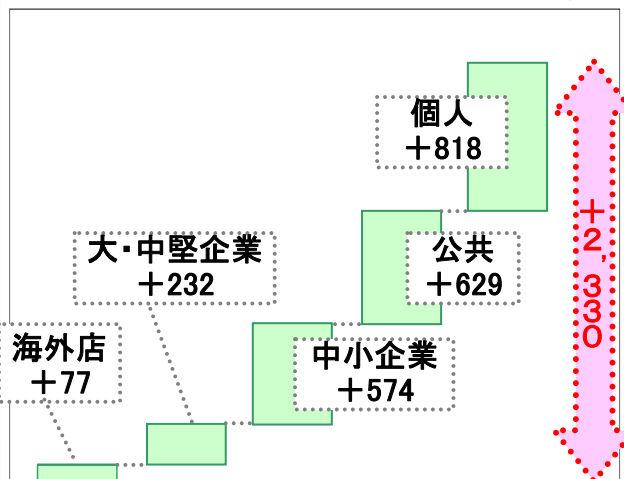
- ・静岡県内 +1,568億円(年率+3.7%)
- ・中小企業向け +574億円(年率+2.2%)
- ・個人向け +818億円(年率+3.8%)

なお、中小企業向けに個人向けを加えた増加額は+1,392億円(年率+3.0%)となりました。

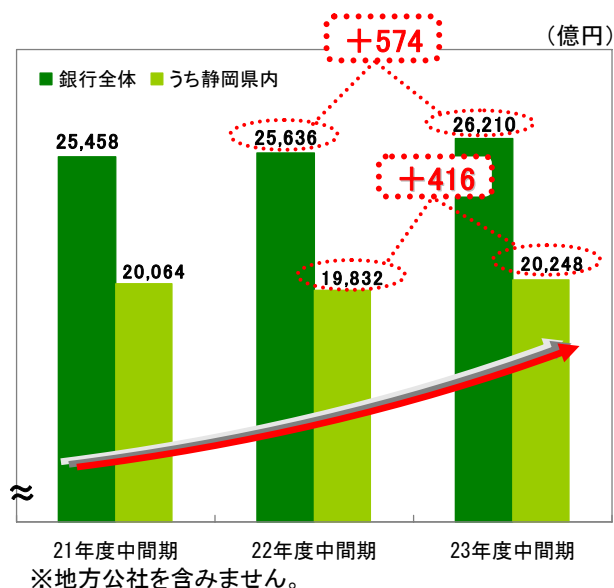
企業規模別 貸出金残高(平残)の増減

【貸出金増減額内訳(前年同期比)】

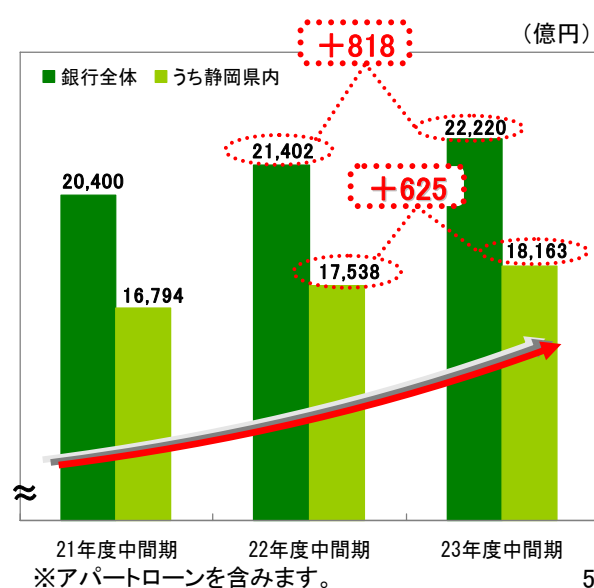
(億円)



うち中小企業向け貸出金残高(平残)の推移



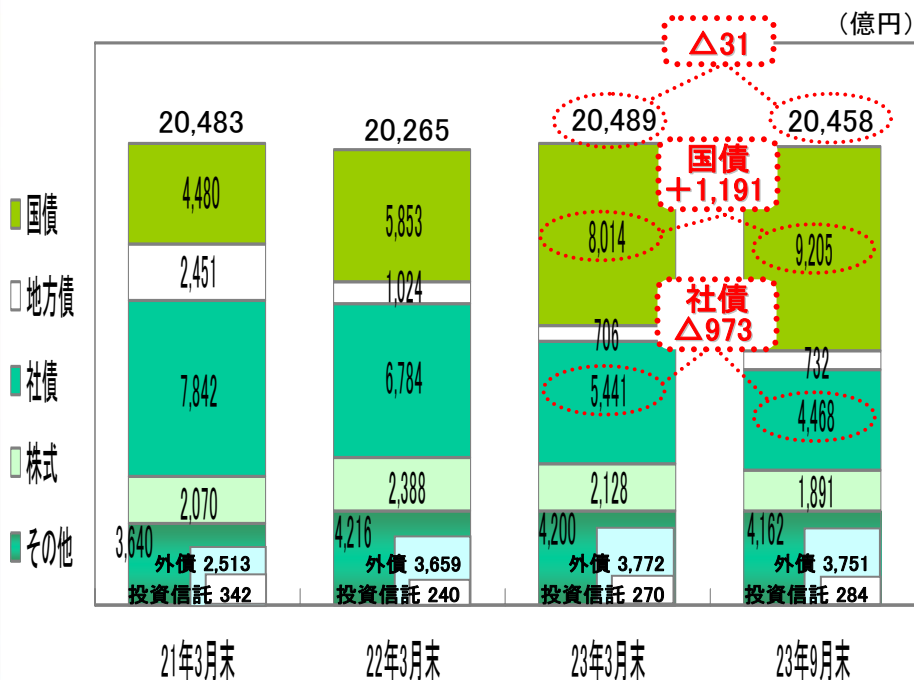
うち個人向け貸出金残高(平残)の推移



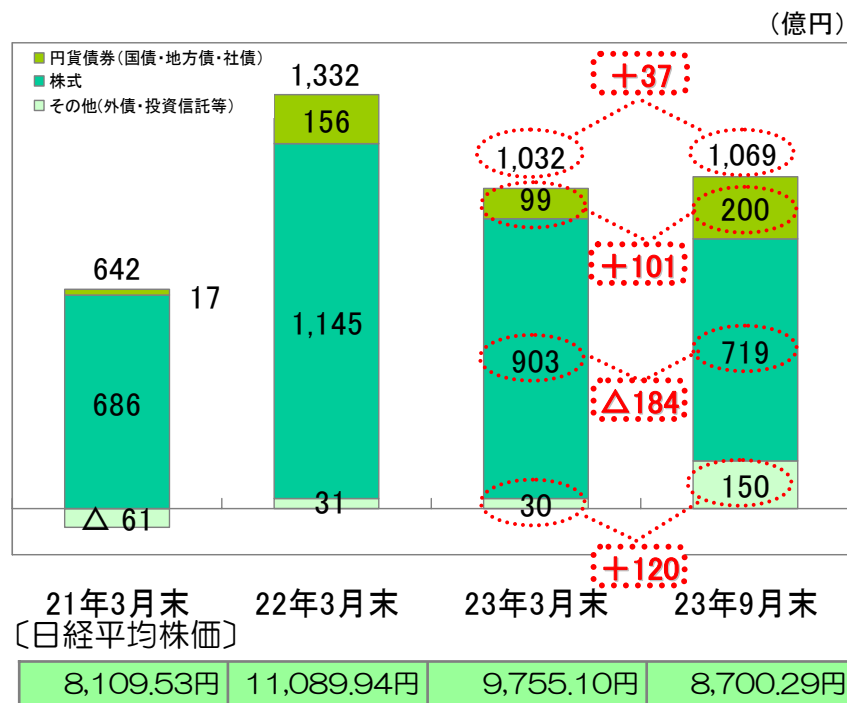
有価証券の状況

- 23年9月末の有価証券残高は、23年3月末比△31億円の20,458億円となりました。
- 23年9月末の有価証券評価損益は、23年3月末比+37億円の1,069億円となりました。株価低迷により株式が△184億円となった一方、金利低下により円貨債券が+101億円、その他が+120億円（うち外債+129億円）増加しました。

有価証券残高の推移



有価証券評価損益の推移



有価証券デュレーションの推移

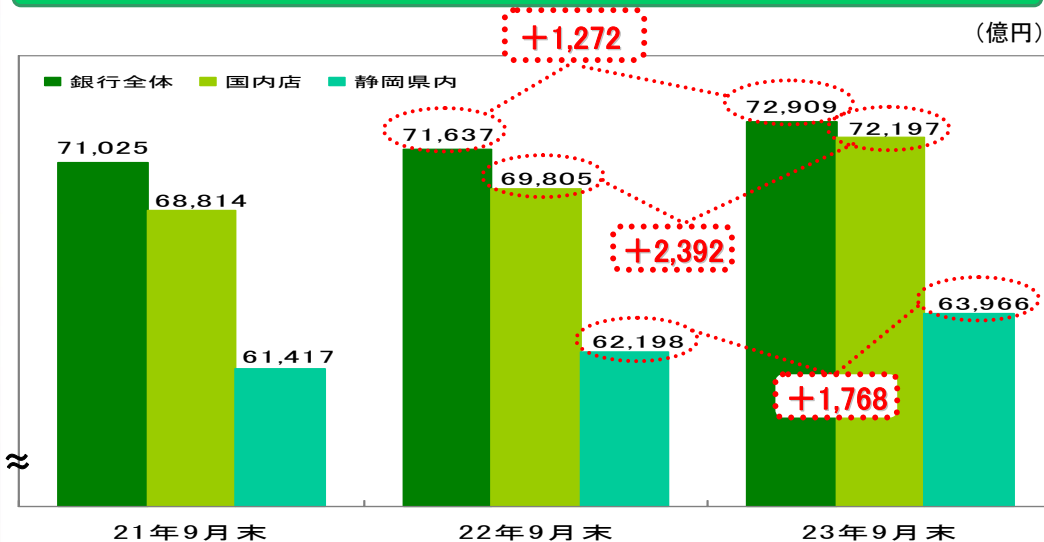
- 相場動向に応じた機動的な対応により、収益性および健全性の向上に努めています。

	21年3月末	22年3月末	23年3月末	23年9月末※
円貨債券	3.90年	4.73年	5.03年	5.64年

※ 23年9月末より、従来のベンダーシステムに代えて行内管理システムにより算出する計数の使用を開始しましたが、影響は軽微であります。

預金の状況①

預金残高（末残）の推移

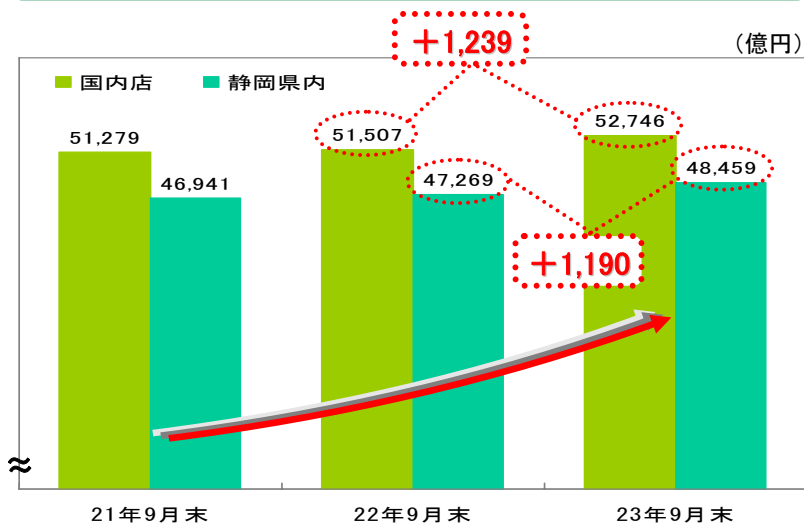


- 23年9月末の預金残高(末残)は72,909億円と前年同期末比+1,272億円(年率+1.8%)の増加となりました。

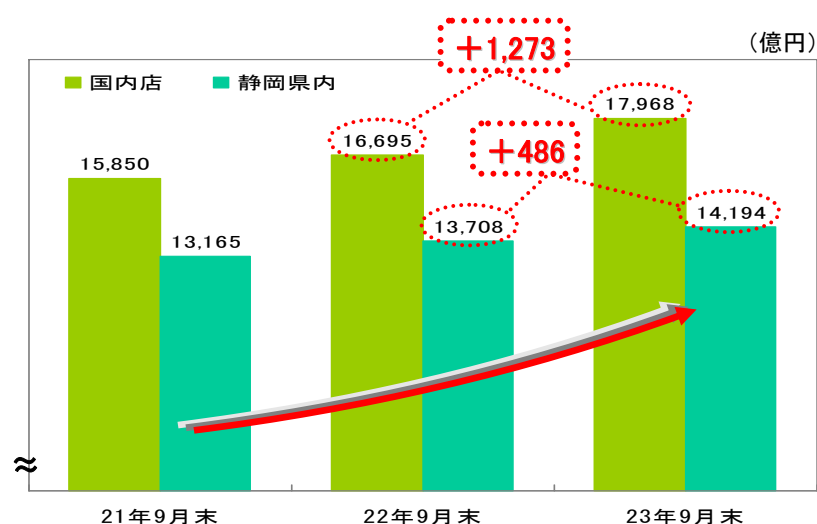
預金残高(末残)増加の主な内訳は以下のとおり

国内営業店	+2,392億円 (年率 +3.4%)
うち静岡県内	+1,768億円 (年率 +2.8%)
うち個人	+1,239億円 (年率 +2.4%)
うち法人	+1,273億円 (年率 +7.6%)
東京オフショア	△976億円 (年率△81.2%)
海外店	△144億円 (年率△22.9%)

うち個人預金残高（末残）の推移

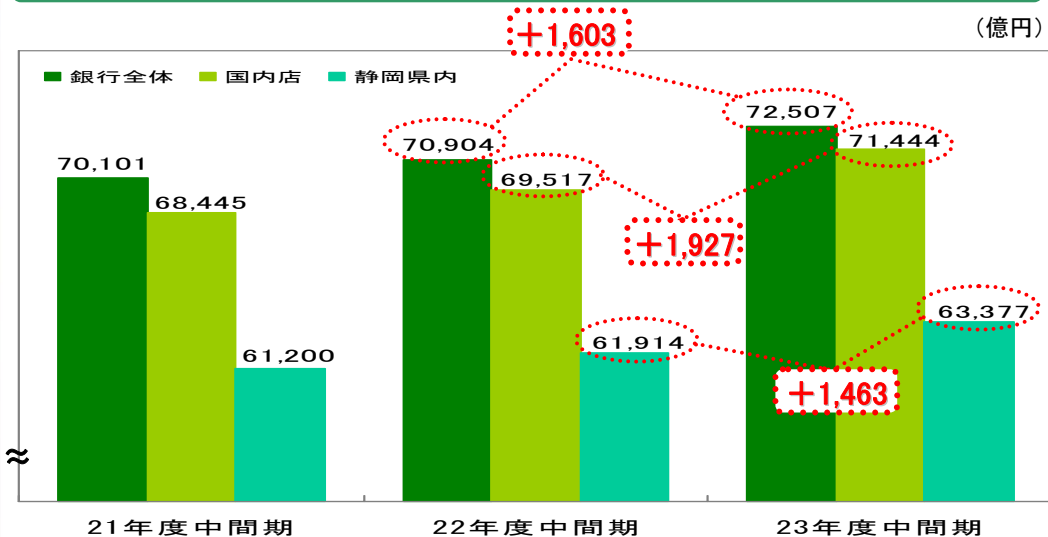


うち法人預金残高（末残）の推移



預金の状況②

預金残高（平残）の推移

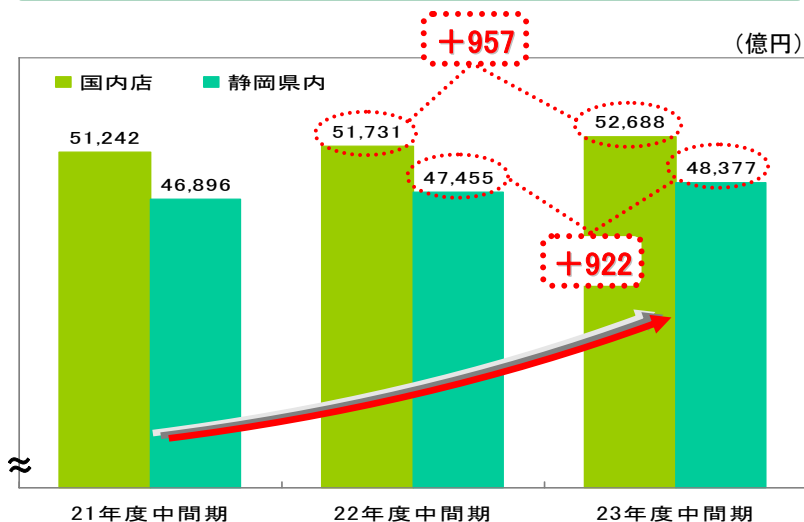


- 23年度中間期の預金残高(平残)は72,507億円と前年同期比+1,603億円(年率+2.3%)の増加となりました。

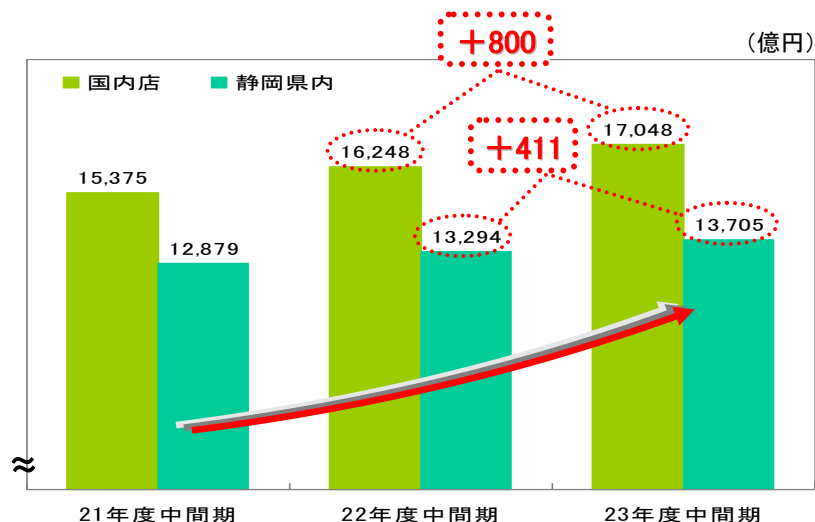
預金残高(平残)増加の主な内訳は以下のとおり

国内営業店	+1,927億円 (年率 +2.8%)
うち静岡県内	+1,463億円 (年率 +2.4%)
うち個人	+957億円 (年率 +1.8%)
うち法人	+800億円 (年率 +4.9%)
東京オフィス	△300億円 (年率△41.4%)
海外店	△24億円 (年率 △3.7%)

うち個人預金残高（平残）の推移



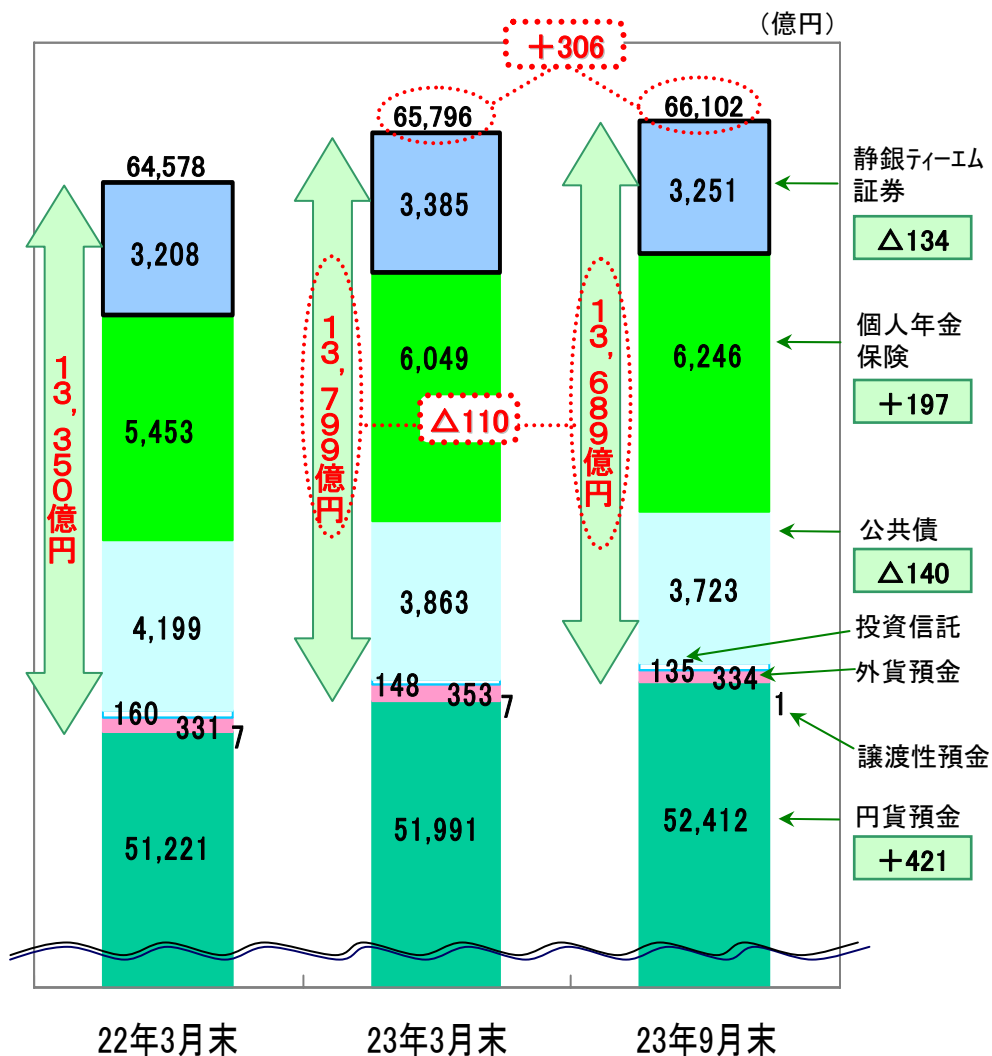
うち法人預金残高（平残）の推移



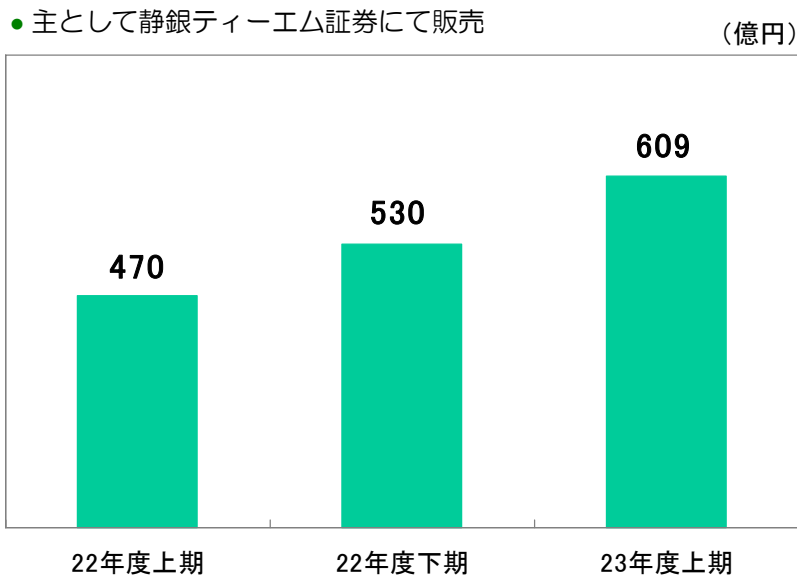
預り資産の状況

- 23年9月末の静銀ティーエム証券(株)を含む個人預り資産残高は66,102億円(23年3月末比+306億円)、また、資産運用商品(円貨預金・譲渡性預金を除く個人預り資産)残高は13,689億円(同△110億円)となりました。

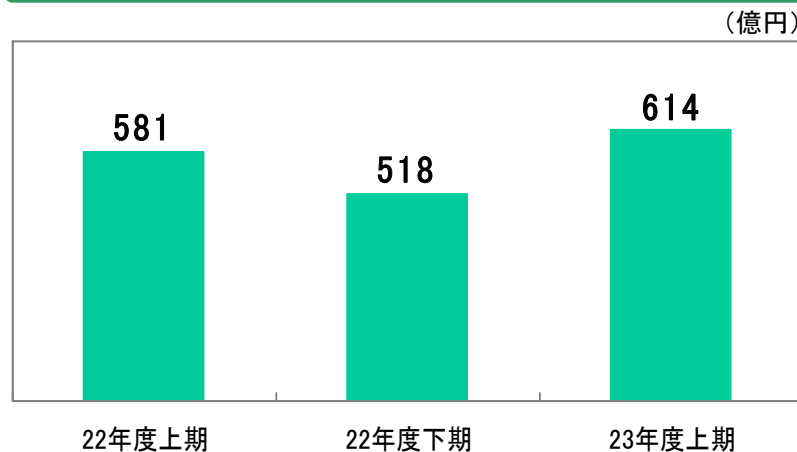
個人預り資産(末残)の推移



投資信託販売額の推移



個人年金保険販売額の推移

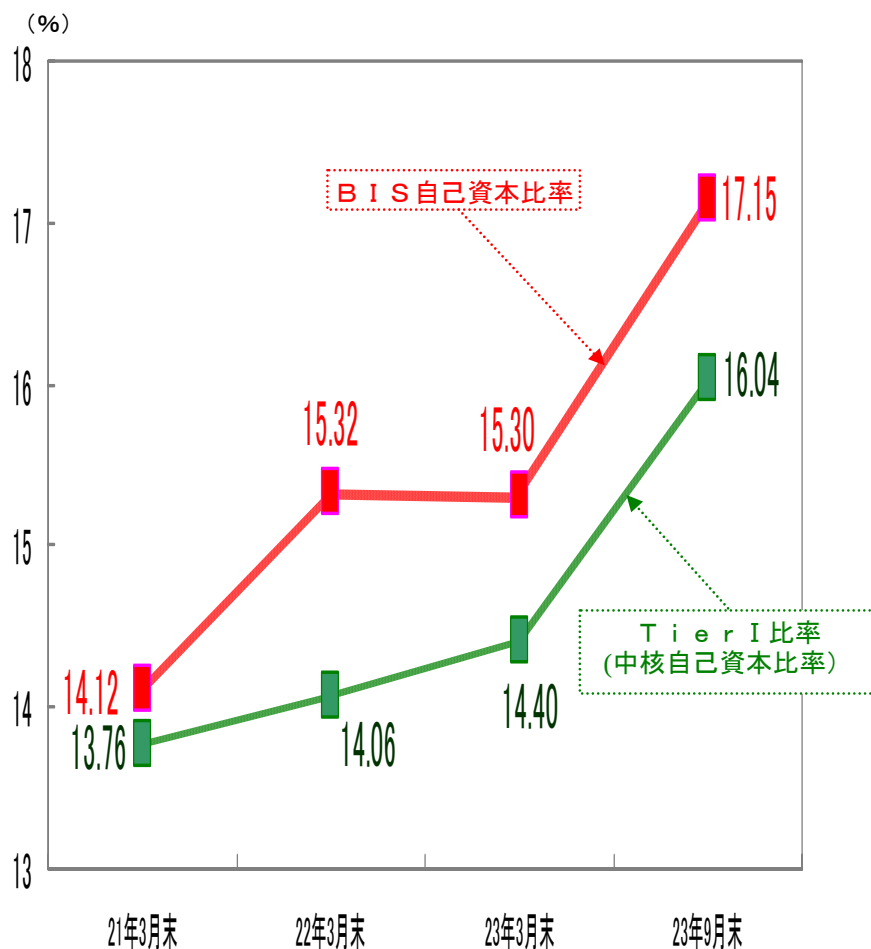


健全性① ～自己資本比率の状況

- バゼルⅡによる自己資本比率（連結ベース）は、信用リスク・アセットの額を中心にリスク・アセット等が減少したことから、23年3月末比+1.85ポイントの17.15%となりました。同様にTier I 比率（中核自己資本比率）についても+1.64ポイントの16.04%となりました。

※リスク・アセット等の計算方法は、信用リスクについては基礎的内部格付手法、オペレーショナルリスクについては粗利益配分手法を採用しています。

B I S 自己資本比率(連結ベース)



自己資本およびリスク・アセット等の推移

(億円)

	21年 3月末	22年 3月末	23年 3月末	23年 9月末	23年 3月末比
自 己 資 本 ※	6, 234	6, 878	6, 861	6, 948	+87
うち Tier I	6, 078	6, 314	6, 459	6, 501	+42
うち Tier II	291	676	507	500	△7
リスク・アセット等	44, 148	44, 889	44, 829	40, 513	△4, 316
信用リスク・アセットの額	40, 946	41, 663	41, 628	37, 371	△4, 257
マーケット・リスク相当額に係る額	248	205	165	123	△42
オペレーショナル・リスク相当額に係る額	2, 954	3, 021	3, 036	3, 019	△17

※ 自己資本には、優先株、劣後債務等を含んでいません。

健全性② ～与信関係費用の状況

与信関係費用：23年度中間期 △73億円(前年同期比△144億円)

《与信関係費用の内訳》	23年度中間期 (ネットting後)	23年度中間期 (ネットting前)	前年同期比
一般貸倒引当金繰入額 ①	—	△96億円	△117億円
不良債権処理額※1 ②	1億円	23億円	△27億円
うち個別貸倒引当金繰入額	—	22億円	△12億円
貸倒引当金戻入益※2 ③	74億円	—	—
合 計 ①+②-③	△73億円	△73億円	△144億円

貸倒引当金計上基準の変更による影響※3

- ・ DCF法導入要因 51億円
- ・ 予想損失率算定方法要因 △89億円

- ・ 債務者区分の変更等 51億円
- ・ 担保評価下落 3億円
- ・ 格上、回収等による取崩 △32億円

※1 不良債権処理額には信用保証協会責任共有制度に関する偶発損失引当金繰入額などを含みます。

※2 貸倒引当金戻入益は一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額をネットtingしたものです。

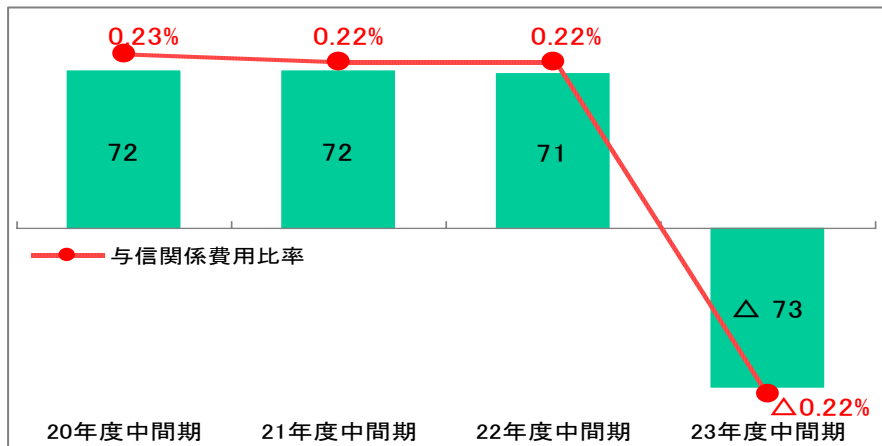
※3 23年度中間期よりDCF法を導入（要注意先、要管理先及び破綻懸念先のうち一部の大口債権）するとともに、予想損失率の算定方法を変更しています。

与信関係費用・与信関係費用比率の推移

【中間期比較】

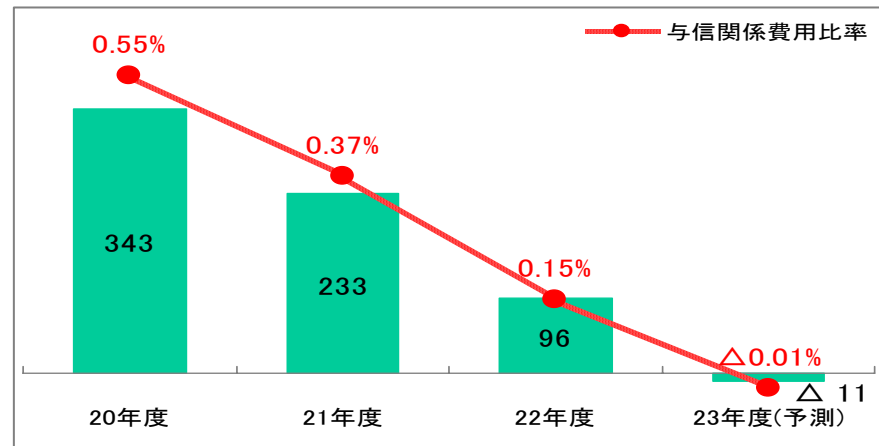
(億円)

(%) (億円)



【年度比較】

(%)



※ 与信関係費用比率＝与信関係費用÷貸出金平残

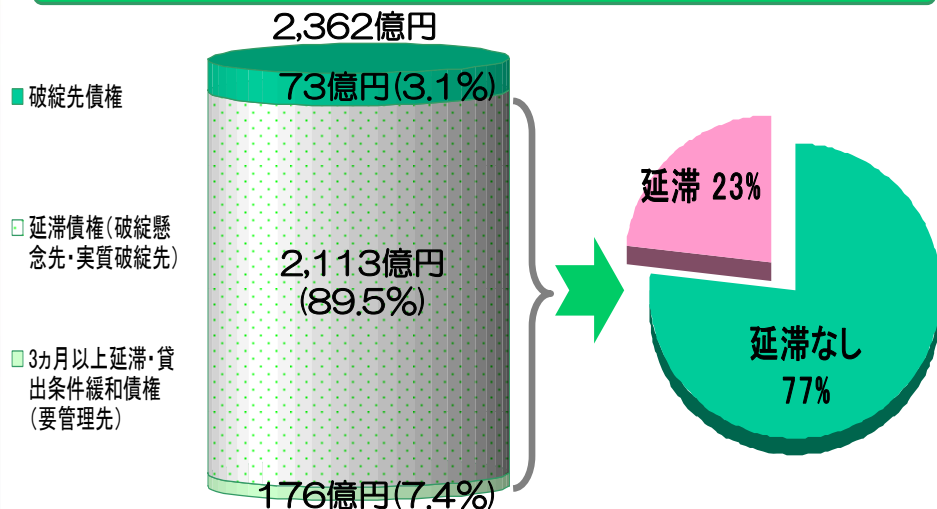
健全性③ ～不良債権の状況

リスク管理債権の状況(単体ベース)

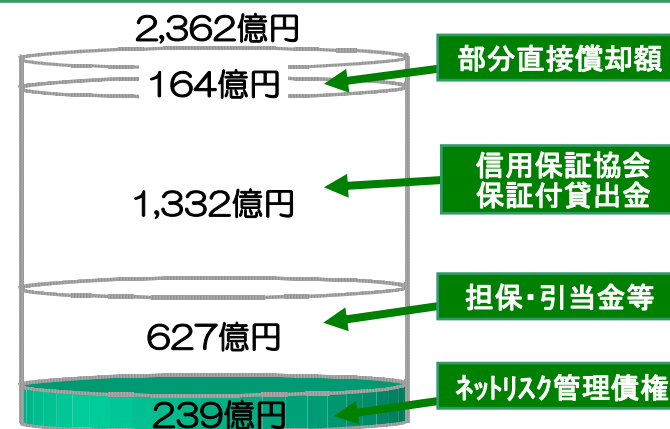
・リスク管理債権	2,362億円 (23年3月末比 △63億円)
・リスク管理債権比率	3.57% (// △0.07ポイント)
・ネットリスク管理債権	239億円 (// △24億円)
・ネットリスク管理債権比率	0.36% (// △0.04ポイント)

※ネットリスク管理債権＝リスク管理債権－部分直接償却－信用保証協会保証付貸出金－担保・引当金等

23年9月末リスク管理債権の内訳



ネットリスク管理債権



不良債権のオフバランス化実績

	21年度	22年度	うち中間期	23年度中間期
新規発生	+977	+721	+380	+299
オフバランス化 (うち破綻懸念先以下)	△764 (△695)	△591 (△551)	△315 (△288)	△362 (△329)
リスク管理債権	2,295	2,425	2,360	2,362

△63億円

〔299億円の内訳〕 (億円)

要管理先	43
破綻懸念先	224
実質破綻先・破綻先	32

〔329億円の内訳〕 (億円)

本人弁済・預金相殺	57
担保処分・代位弁済	106
格上	118
債権売却	12
直接償却	36

地域密着型金融への取組み①

- 静岡銀行グループでは、「基本理念“地域とともに夢と豊かさを広げます。”の実践を通じて、地域との共生による持続的成長を実現する。」を基本的な方針として、地域密着型金融を推進しています。
- 特に「ビジネスマッチング支援」「次世代経営者塾『Shizuginship』の運営」および「経営改善・事業再生支援」を3つの柱として取り組んでいます。また、第11次中期経営計画の基本戦略の1つ「『先進性』『提案・解決力』を通じた成長の実現」に向けて、「取引先のアジア進出支援」にも積極的に取り組んでいます。

ビジネスマッチング

静岡銀行グループのネットワーク・商談会を活用した、お客さまニーズのマッチングによる業容拡大の支援



Shizuginship

次世代を担う静岡県内の経営者、後継者、実務担当者の方々に対する、研鑽と交流の「場」の提供



経営改善・事業再生支援

経営改善や事業再生に向けた努力を行っているお客さまの支援



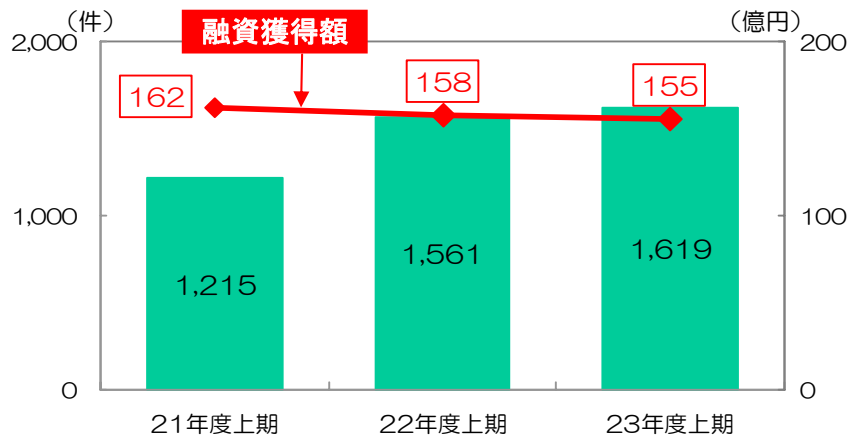
ビジョンの実現

お客さまとともに地域の未来を切り拓く総合金融グループ
～Challenge for the Future

地域密着型金融への取組み②

- ビジスマッチング、次世代経営者塾「Shizuginship」および経営改善・事業再生支援の具体的な成果・実績は以下のとおりです。

ビジスマッチングの成約実績および融資獲得額



主な商談会

- しずぎん@gricom (23年7月、74社出展)
- 香港フード・エキスポ2011 (23年8月、7団体出展)

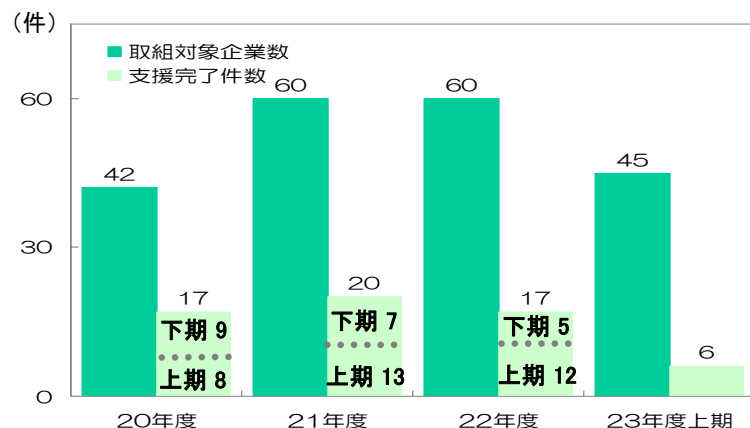
次世代経営者塾「Shizuginship」

- 会員数：863社/1,299名 (23年9月末)
- 地域経済の将来を担う人材の育成支援とともに、各種イベントの開催、Webサービスによる情報提供など、会員の皆さまの事業発展を支援しています。

23年度上期の活動実績 (会員参加人数 のべ1,372名)

内容	開催実績
地域フォーラム	3回 (東部・中部・西部)
セミナー (著名な経営者や専門家による講演会)	4回
ゼミナール (テーマ別に連続開催する講座)	33回 (11講座)
ワークショップ (会員が発起人となった勉強会)	4回 (2企画)
視察	1回 (熊本・鹿児島)

事業再生支援への取組み



- 静岡県内の東・中・西部地区にて各1地域 (商店街等の中心市街地、温泉街等) について、行政、他の地域金融機関、該当地域の活性化を目的とする協議会等と連携し、地域活性化を支援しました。
- なかでも、静岡市中心市街地については、他の地域金融機関5行庫、行政等との会議により取りまとめた「提言」を静岡市長へ提出し、その具体化に向けた取組みを支援しています。



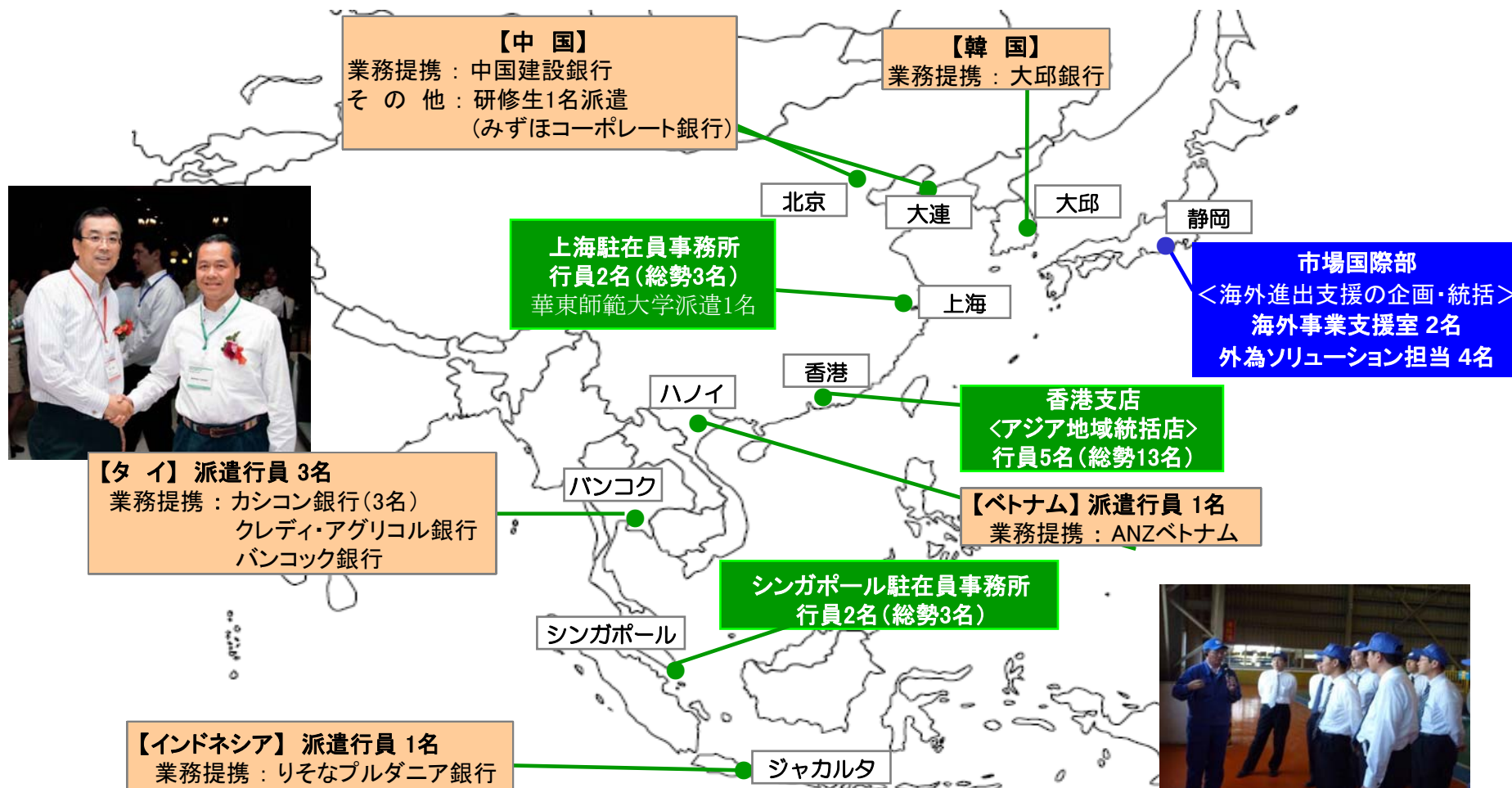
▲平成23年7月、静岡市長へ「中心市街地の活性化に向けた検討結果(提言)」を提出

地域密着型金融への取組み③

- 取引先のアジアを中心とする海外進出が増加する中、平成23年1月に市場国際部国際営業統括グループ内に「海外事業支援室」を設置して体制を強化し、海外進出および進出後の事業展開を支援しています。

アジアにおける静岡銀行のネットワーク（平成23年10月末現在）

- こうしたネットワークを活かした取引先支援の前提として、役員のアジア出張の義務化、国内営業店長等による海外視察、通学制英会話スクールをはじめとする教育プログラムの新設など、「人材育成」施策にも継続的に取り組んでいます。



地域密着型金融の推進に関する主要計数

- 23年度上期における地域密着型金融の推進に関する主要計数は、以下のとおりです。

ライフサイクルに応じた支援強化

主要計数	23年度上期実績	(参考) 22年度実績
①経営改善支援取組み率＝経営改善支援取組み先(※1)数／期初債務者数（正常先除く）	1.2%	2.0%
経営改善支援取組み先数（正常先除く）	192先	319先
期初債務者数（正常先、アパートローンのみ先除く）	16,021先	16,058先
②再生計画策定率＝再生計画策定先(※2)数／経営改善支援取組み先数（正常先除く）	80.7%	87.1%
再生計画策定先数（正常先除く）	155先	278先
経営改善支援取組み先数（正常先除く）	192先	319先
③ランクアップ率＝ランクアップ先(※3)数／経営改善支援取組み先数（正常先除く）	6.3%	10.0%
ランクアップ先数（正常先除く）	12先	32先
経営改善支援取組み先数（正常先除く）	192先	319先
④創業・新事業支援融資実績 〔「開業・新事業支援に関する制度融資」の期中実行件数・実行額〕	189件／1,790百万円	462件／7,792百万円

※1 経営改善支援取組み先＊： 営業店による経営改善支援先(a)＋本部による事業再生集中対応先(b)＋中小企業支援協議会の再生計画策定先(メイン取引行として対応した先のみ)

※2 再生計画策定先数＊： (a)のうち経営改善計画策定先＋(b)のうち再生計画策定先＋中小企業支援協議会の再生計画策定先(メイン取引行として対応した先のみ)

※3ランクアップ先： 経営改善支援取組み先のうち、平成23年9月末の債務者区分が平成23年3月末と比較し上昇した先

＊重複は除く

株主還元状況

- 「配当性向25%程度かつ大手地方銀行最高水準」の基本方針に則り、業績などを総合的に勘案し、23年度の1株当たり配当額(年間)は、本年5月の予想から0.50円増配の13.50円を予定しています。

配当額の推移

	20年度	21年度	22年度	23年度予想
一株当たり配当額(年間)	13.00円	13.00円	13.00円	13.50円(6.50円)
配当利回り(配当/期末株価)	1.47%	1.59%	1.88%	—

() は中間配当額

株主への利益配分の状況

	20年度	21年度	22年度	23年度予想	13～22年度実績 (10年間)
年間配当額①	91	91	88	89	729(累計)
自己株式取得額② ※	—	40	150	146	715(累計)
株主還元額③=①+②	91	131	238	235	1,445(累計)
当期純利益④	128	321	354	365	2,648(累計)
配当性向①/④×100	70.85%	28.20%	24.85%	24.26%	27.55%(平均)
株主還元率③/④×100	70.85%	40.64%	67.22%	64.19%	54.56%(平均)

※ 23年度予想は上期実施分を記載しています。

業績予想

(億円)

【連 結】	22年度実績	23年度予想	前年度比 (B-A)	(参考)
	(A)	(B)		23年度中間期 実績
連結経常収益	2,090	2,100	+10	1,131
連結経常利益	642	670	+28	405
連結当期純利益	362	380	+18	223

(億円)

【静岡銀行単体】	22年度実績	23年度予想	前年度比 (B-A)	(参考)
	(A)	(B)		23年度中間期 実績
経常収益	1,793	1,790	△3	974
業務粗利益	1,514	1,481	△33	764
資金利益	1,282	1,273	△9	652
役務取引等利益	145	151	+6	74
特定取引利益	△3	3	+6	△3
その他業務利益	90	54	△36	40
経費 (△)	810	811	+1	408
一般貸倒引当金繰入額	△13	—	+13	—
業務純益	717	670	△47	356
臨時損益	△130	△60	+70	18
経常利益	587	610	+23	374
当期純利益	354	365	+11	215

与信関係費用 (△)	96	△11	△107	△73
------------	----	-----	------	-----

＜貸出金の状況＞〔未残ベース〕【単体】

(億円未満四捨五入、増減は表上にて算出)

(億円)

	20年9月末	21年3月末	21年9月末	22年3月末	22年9月末 A	23年3月末 B	23年9月末 C	22年9月末比 C-A	23年3月末比 C-B
貸出金	60,835	63,675	62,893	63,014	63,730	66,592	66,091	2,361	△ 501
国内店①	59,628	61,983	61,867	62,132	62,911	65,650	65,081	2,170	△ 569
一般貸出金（企業向け貸出金） ※1	38,610	40,268	39,581	39,403	39,625	41,362	40,367	742	△ 995
うち中小企業向け② ※1	25,454	25,807	25,839	26,161	26,489	27,727	27,435	946	△ 292
公共向け貸出金	1,417	1,441	1,471	1,399	1,506	2,092	2,176	670	84
うち中小企業向け（公社等）③	187	164	154	133	179	340	296	117	△ 44
個人向け貸出金④ ※2	19,600	20,274	20,815	21,331	21,779	22,195	22,538	759	343
（消費者ローン） ※2	19,658	20,333	20,864	21,377	21,824	22,240	22,571	747	331
海外店	1,207	1,692	1,025	882	819	942	1,010	191	68
うち中小企業向け②+③	25,641	25,971	25,993	26,294	26,667	28,067	27,731	1,064	△ 336
うち中小企業等⑤=②+③+④	45,241	46,245	46,808	47,625	48,446	50,262	50,269	1,823	7
中小企業等貸出金比率⑤/①	75.87%	74.60%	75.65%	76.65%	77.00%	76.56%	77.24%	0.24%	0.68%

【静岡県内の貸出金】

(億円)

	20年9月末	21年3月末	21年9月末	22年3月末	22年9月末 A	23年3月末 B	23年9月末 C	22年9月末比 C-A	23年3月末比 C-B
静岡県内の貸出金	40,596	42,709	42,762	42,995	43,436	45,806	45,389	1,953	△ 417
一般貸出金（企業向け貸出金） ※1	22,956	24,573	24,183	24,107	24,146	25,552	24,804	658	△ 748
うち中小企業向け⑥ ※1	19,583	20,337	20,349	20,464	20,649	21,704	21,372	723	△ 332
公共向け貸出金	1,404	1,427	1,456	1,387	1,446	2,084	2,169	723	85
うち中小企業向け（公社等）⑦	180	155	145	126	174	336	292	118	△ 44
個人向け貸出金⑧ ※2	16,236	16,709	17,122	17,501	17,844	18,170	18,415	571	245
（消費者ローン） ※2	16,195	16,672	17,077	17,457	17,800	18,129	18,365	565	236
うち中小企業向け⑥+⑦	19,763	20,492	20,494	20,590	20,823	22,040	21,664	841	△ 376
うち中小企業等⑥+⑦+⑧	35,999	37,201	37,616	38,091	38,667	40,210	40,079	1,412	△ 131

※1. 「一般貸出金（企業向け貸出金）」および「うち中小企業向け」には事業性個人貸出金を含んでおります。

※2. 「個人向け貸出金」および「消費者ローン」には、アパートローンを含んでおります。

<貸出金の状況>〔平残ベース〕【単体】

(億円)											
	20年度			21年度			22年度			23年度	前年同期比 B-A
		上期	下期		上期	下期		上期 A	下期	上期 B	
貸出金	61,432	59,974	62,899	62,752	62,743	62,761	63,256	62,678	63,836	65,008	2,330
国内店①	60,182	58,908	61,463	61,642	61,507	61,777	62,385	61,853	62,919	64,107	2,254
一般貸出金（企業向け貸出金）※1	39,259	38,255	40,268	39,479	39,621	39,337	39,214	38,993	39,436	39,800	807
うち中小企業向け② ※1	25,403	25,039	25,770	25,561	25,458	25,665	25,798	25,636	25,961	26,210	574
公共向け貸出金	1,433	1,455	1,410	1,477	1,486	1,468	1,550	1,458	1,643	2,087	629
うち中小企業向け(公社等)③	189	199	178	160	144	176	175	117	234	316	199
個人向け貸出金④ ※2	19,489	19,197	19,784	20,685	20,400	20,972	21,621	21,402	21,840	22,220	818
(消費者ローン) ※2	19,553	19,262	19,845	20,740	20,458	21,023	21,668	21,449	21,887	22,263	814
海外店	1,251	1,067	1,436	1,111	1,236	984	871	825	917	902	77
うち中小企業向け②+③	25,592	25,238	25,948	25,721	25,602	25,841	25,973	25,753	26,195	26,526	773
うち中小企業等⑤=②+③+④	45,081	44,435	45,732	46,406	46,002	46,813	47,594	47,155	48,035	48,746	1,591
中小企業等貸出金比率⑤/①	74.90%	75.43%	74.40%	75.28%	74.79%	75.77%	76.29%	76.23%	76.34%	76.03%	△ 0.20%

【静岡県内の貸出金】

(億円)											
	20年度			21年度			22年度			23年度	前年同期比 B-A
		上期	下期		上期	下期		上期 A	下期	上期 B	
静岡県内の貸出金	40,660	39,865	41,460	42,411	42,319	42,503	42,766	42,482	43,052	44,050	1,568
一般貸出金（企業向け貸出金）※1	23,100	22,491	23,712	23,944	24,053	23,834	23,568	23,507	23,630	23,808	301
うち中小企業向け⑥ ※1	19,499	19,203	19,796	20,059	20,064	20,054	19,942	19,832	20,053	20,248	416
公共向け貸出金	1,418	1,440	1,396	1,463	1,472	1,454	1,490	1,437	1,545	2,079	642
うち中小企業向け(公社等)⑦	180	190	170	151	135	167	169	111	228	312	201
個人向け貸出金⑧ ※2	16,142	15,934	16,351	17,004	16,794	17,215	17,707	17,538	17,878	18,163	625
(消費者ローン) ※2	16,107	15,899	16,316	16,965	16,757	17,174	17,666	17,496	17,837	18,121	625
うち中小企業向け⑥+⑦	19,679	19,393	19,966	20,210	20,199	20,221	20,111	19,943	20,281	20,560	617
うち中小企業等⑥+⑦+⑧	35,821	35,327	36,317	37,214	36,993	37,436	37,818	37,481	38,159	38,723	1,242

※1. 「一般貸出金（企業向け貸出金）」および「うち中小企業向け」には事業性個人貸出金を含んでおります。

※2. 「個人向け貸出金」および「消費者ローン」には、アパートローンを含んでおります。

＜有価証券の状況＞ 【単体】

(億円未満四捨五入、増減は表上にて算出)

○有価証券ポートフォリオ

	21年3月末		22年3月末		23年3月末		23年9月末		(億円)	
		構成比率(%)		構成比率(%)		構成比率(%)		構成比率(%)	23年3月末比	構成比率(%)
有価証券	20,483	100.0	20,265	100.0	20,489	100.0	20,458	100.0	△ 31	—
国債	4,480	21.9	5,853	28.9	8,014	39.1	9,205	45.0	1,191	5.9
地方債	2,451	12.0	1,024	5.1	706	3.4	732	3.6	26	0.2
社債	7,842	38.3	6,784	33.5	5,441	26.6	4,468	21.8	△ 973	△ 4.8
株式	2,070	10.1	2,388	11.8	2,128	10.4	1,891	9.2	△ 237	△ 1.2
その他	3,640	17.7	4,216	20.7	4,200	20.5	4,162	20.4	△ 38	△ 0.1
(うち外貨債券)	2,513	12.3	3,659	18.1	3,772	18.4	3,751	18.3	△ 21	△ 0.1
(うち投資信託)	342	1.7	240	1.1	270	1.3	284	1.4	14	0.1

○有価証券評価損益

	21年3月末	22年3月末	23年3月末	23年9月末	(億円)
					23年3月末比
その他有価証券	642	1,332	1,032	1,069	37
株式	686	1,145	903	719	△ 184
債券	17	156	99	200	101
その他(外債、投信等)	△ 60	31	30	150	120

※「その他有価証券」とは、有価証券のうち、売買目的有価証券、満期保有目的の債券、子会社株式および関連会社株式を除いたものをいいます。

日経平均株価	8,109.53 円	11,089.94 円	9,755.10 円	8,700.29 円	△ 1,054.81 円
--------	------------	-------------	------------	------------	--------------

○減損処理による影響

(億円)	
減損基準	損益への影響
●市場価格があり、時価が把握できる株式等 期末の時価が簿価に比べ30%以上下落したもの	52.6
●市場価格がなく、時価が把握できない株式等 期末の実質価額が簿価に比べ30%以上下落したもの	0.0
臨時費用「株式等償却」への計上額	52.6

<預金・預り資産の状況> 【単体】

○預金の状況（末残）

（億円）

	20年9月末	21年3月末	21年9月末	22年3月末	22年9月末 A	23年3月末 B	23年9月末 C	22年9月末比 C-A	23年3月末比 C-B
預金	69,066	70,998	71,025	71,977	71,637	73,530	72,909	1,272	△ 621
国内営業店預金	67,258	69,125	68,814	70,268	69,805	72,388	72,197	2,392	△ 191
うち個人預金	50,325	50,810	51,279	51,552	51,507	52,344	52,746	1,239	402
うち法人預金	14,814	15,574	15,850	16,095	16,695	17,609	17,968	1,273	359
静岡県内預金	59,931	61,407	61,417	62,956	62,198	64,562	63,966	1,768	△ 596
うち個人預金	46,002	46,461	46,941	47,247	47,269	48,022	48,459	1,190	437
うち法人預金	12,377	12,928	13,165	13,443	13,708	14,500	14,194	486	△ 306
譲渡性預金	2,030	2,987	3,920	2,789	3,352	3,108	4,332	980	1,224
合計	71,096	73,985	74,945	74,766	74,989	76,638	77,241	2,252	603

○個人預り資産の状況（末残）

（億円）

	20年9月末	21年3月末	21年9月末	22年3月末	22年9月末 A	23年3月末 B	23年9月末 C	22年9月末比 C-A	23年3月末比 C-B
個人預り資産残高（銀行本体）	59,176	59,412	60,616	61,370	61,423	62,411	62,851	1,428	440
円貨預金	50,044	50,473	50,951	51,221	51,179	51,991	52,412	1,233	421
譲渡性預金	16	12	6	7	6	7	1	△ 5	△ 6
外貨預金	281	337	328	331	328	353	334	6	△ 19
投資信託	154	132	151	160	145	148	135	△ 10	△ 13
公共債	4,253	4,183	4,240	4,199	4,070	3,863	3,723	△ 347	△ 140
個人年金保険	4,428	4,275	4,939	5,453	5,696	6,049	6,246	550	197
静銀フィード証券の個人預り資産	2,962	2,486	2,882	3,208	3,198	3,385	3,251	53	△ 134
静銀フィード証券を含む個人預り資産	62,138	61,898	63,498	64,578	64,621	65,796	66,102	1,481	306
うち円貨預金・譲渡性預金除き	12,077	11,413	12,540	13,350	13,436	13,799	13,689	253	△ 110

＜平成23年9月末の自己査定結果、金融再生法開示債権、リスク管理債権＞ 【単体】

- ・ 総与信に占める金融再生法開示基準による不良債権の割合3.52%（部分直接償却を実施した場合の総与信に占める割合3.28%）
- ・ 貸出金に占めるリスク管理債権の割合3.57%（部分直接償却を実施した場合の貸出金に占める割合3.33%）

(億円、%)

自己査定における 債務者区分		自己査定分類区分（対象：貸出金等与信関連債権）				担保・保証等 による保全額	引当額	保全率	金融再生法に基づく開示債権 対象：要管理債権は貸出金のみ (その他は貸出金等与信関連債権)		リスク管理債権 対象：貸出金
		非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類				うち私募債		
破綻先 73 〈29〉		64 〈19〉	9	- (5)	- (44)	324	216	100.0%	破産更生債権及び これらに準ずる債権 539 〈379〉		破綻先債権 73 〈29〉
実質破綻先 467 〈351〉		365 〈249〉	102	- (50)	- (116)						-
破綻懸念先 1,652 〈1,644〉		1,255 〈1,247〉	226	171 (95)		1,385	95	89.6%	危険債権 1,654 〈1,646〉		2,113 〈1,994〉
要注意先	要管理先 216	18	198			要管理先の保全額 128	16	66.5%	要管理債権		3カ月以上延滞債権 20
						要管理先のうち要管理 債権に対する保全額 94	14	61.4%	(貸出金のみ)		貸出条件緩和債権 156
						要管理先のうち要管理 債権以外の保全額 34	2	88.5%	正常債権 64,857		合計 2,362 〈2,199〉
10,705	要管理先 以外の要 注意先 10,488	4,998	5,490			7,273	192	71.2%			
正常先 54,023		54,023					184				
合計 66,919 〈66,751〉		非分類合計 60,722 〈60,555〉	Ⅱ分類合計 6,025	Ⅲ分類合計 171 (151)	Ⅳ分類合計 - (160)		合計 703		合計 67,226 〈67,058〉		
									307		

- ※1. 貸出金等与信関連債権：貸出金、支払承諾見返、外国為替、未収利息、貸出金に準ずる仮払金、クレジットカード未収金
2. 自己査定分類区分における（ ）内は分類額に対する引当額です。破綻先・実質破綻先のⅢ・Ⅳ分類は全額引当しています。
3. 当行は部分直接償却は実施していませんが、実施した場合の与信残高を〈 〉内に記載しています。部分直接償却 168
4. 要注意先については、当該先の与信残高から保証協会保証・預金担保等（優良担保・保証）を控除した額をすべてⅡ分類としています。
5. 正常先については、国・地公体向けの非区分債権を含んでいます。
6. 金融再生法開示債権には、時価評価をした銀行保証付私募債を含めております。

<債務者区分の遷移状況（残高ベース）> 【単体】

【23年3月～23年9月】

（億円）

		当初残高 A	23 年 9 月 末							デフォルト額	デフォルト率	個別貸倒引	繰入率
			正常先	要注意先	要管理先	破綻懸念先 B	実質破綻先 C	破綻先 D	その他	B+C+D E	E/A	当金繰入額 F	F/A
23 年 3 月 末	正常先	54,170	51,439	980	25	24	3	0	1,698	27	0.04%	5	0.00%
	要注意先	10,785	1,173	9,244	36	169	18	25	119	212	1.96%	17	0.15%
	要管理先	219	3	32	155	14	11	—	4	25	11.41%	10	4.56%
	破綻懸念先	1,698	3	108	5	1,437	77	13	57				
	実質破綻先	462	2	5	0	7	399	4	44				
	破綻先	88	—	0	—	5	—	67	16				

【22年9月～23年9月】

（億円）

		当初残高 A	23 年 9 月 末							デフォルト額	デフォルト率	個別貸倒引	繰入率
			正常先	要注意先	要管理先	破綻懸念先 B	実質破綻先 C	破綻先 D	その他	B+C+D E	E/A	当金繰入額 F	F/A
22 年 9 月 末	正常先	51,244	47,490	1,576	41	58	12	12	2,056	82	0.16%	16	0.03%
	要注意先	10,980	1,917	8,429	54	296	85	42	157	423	3.85%	58	0.52%
	要管理先	181	4	32	125	11	2	—	8	13	7.18%	2	1.10%
	破綻懸念先	1,642	4	151	5	1,304	112	15	51				
	実質破綻先	426	3	5	1	10	313	13	82				
	破綻先	150	—	1	—	7	—	50	92				

※1. 計上基準：与信残高は23年3月末、22年9月末の残高を使用し、23年9月末までの間の与信額の増減は考慮していません。

2. その他については23年9月末時点で取引解消、オフバランス化しているものを計上しています。